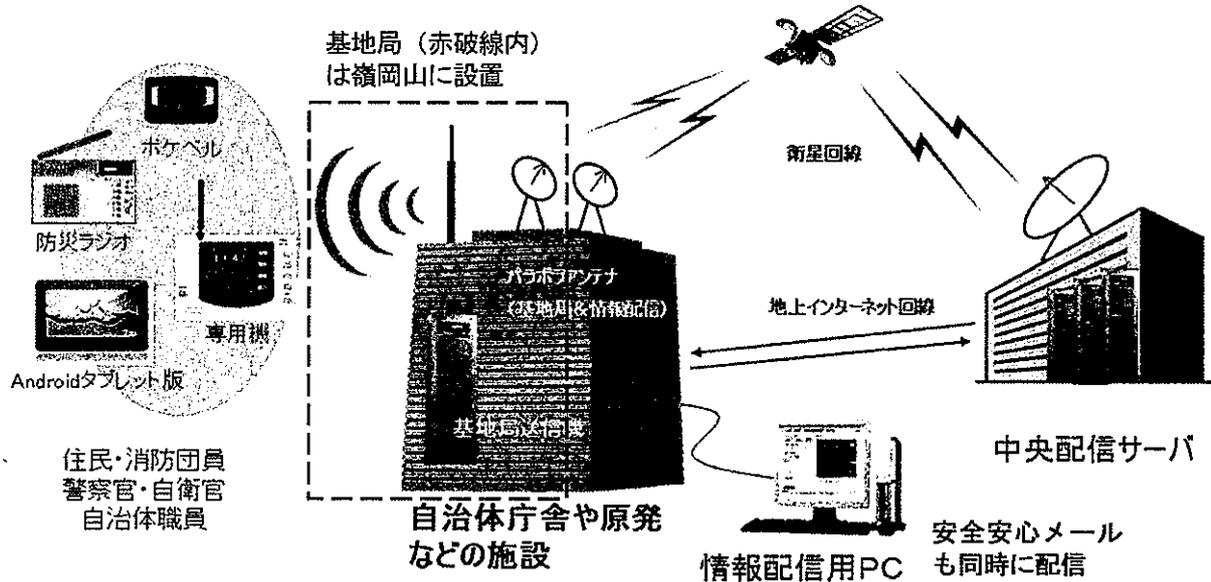


# 防災情報配信設備の整備

現在市内で使用している「アナログ式防災行政無線個別受信機」を更新するため、新たにデジタル式防災情報配信設備を整備することとし、9月補正予算計上し、平成25年度中に完成する予定となっている。

- > PCが発信基地 (PCがそのまま指令卓)
- > 市区町村庁舎・行政施設・原発施設などに280MHz送信局を設けて強力なポケベル波で地域一体を守る
- > 大災害時に輻輳が生じず、地上回線の寸断や大停電にも耐える通信システム
- > 中央配信サーバの2重化(横浜と池袋)と通信ルートの2重化(衛星回線とインターネット回線)
- > 燃料供給なしで3週間の停電に対応できる衛星管制センターに配信サーバを設置
- > 戸別受信機で屋内の住民に確実に情報伝達(停電時にはバッテリーや電池駆動)



## デジタル式防災ラジオについて

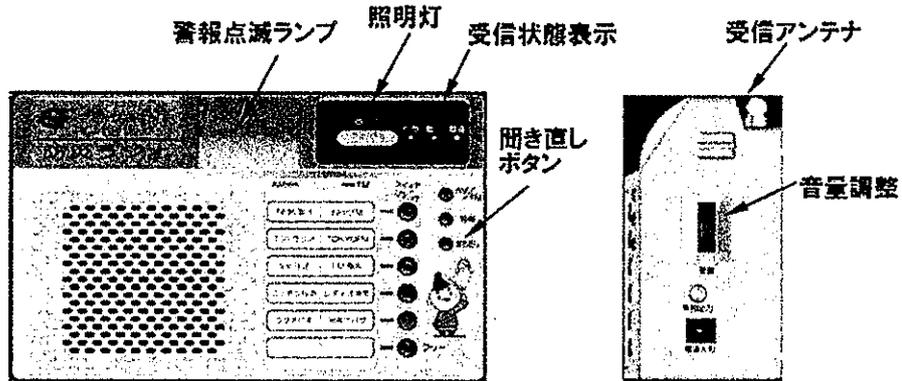
**防災ラジオ型戸別受信機(音声):** いつも身近にあって生活の一部。しかし、緊急時には停電していても強制着呼で防災情報を伝えてくれる。

①ラジオをつけているときもOFFの状態でも、防災情報を受信すれば強制起動し読み上げる。

②読み上げの前にチャイム音からスタート。緊急情報の場合は警告ランプ点滅。

③次の受信までは何度でも再生・聞き直しが可能。次の受信があれば文字データは上書きされる。

④グループ設定が可能



チャンネル: プリセットでボタン選局+自由選局

電池で3日稼働。

【本体サイズ: 185(W)×115(H)×62(D)、650g】